

発行元：石井ひでたけ後援会



い、
NEW
から見える。

流れを変える若い力36才!!



新しい年を迎られ、皆様方には、益々、ご健勝のこととお慶び申し上げます。この度、月刊『民主』とは別に、地域の方々と対話を進めながら、わたしの活動を報告させていただきたく、『みるみる通信』を創刊いたしました。創刊号は、特にわたしのことを身近に知っていただくために、Q&A形式で掲載させていただきました。県政のこと、地域のこと、なんでもお気軽にご意見・ご希望をお聞かせください。お手紙、FAX、Eメールをお待ちしています。

Q. 政治を志すきっかけは？

A. 小学生高学年の時、父に連れられ岩岡へ行く機会がありました。その途中、急にきれいな舗装道に出たのでなぜかと聞くと、「ここから神戸市なんだよ」と教えられました。当時、私は明石の魚住に住んでおり、JR沿線の魚住の方が、岩岡よりも開けていると思っていたので、この記憶は、今でも鮮明に残っています。思えば、神戸市と明石市のインフラ整備の違いなのですが、街のあり方の違いを実感した出来事でした。

大学進学後、学園都市や、開発途上の西神ニュータウンで生活満足度を調査する機会がありました。一件一件ボスティングするうちに、将来街づくりに携わる仕事がしてみたいと思うようになり、民間デベロッパー会社に就職しました。しかし、5年目にしてあの阪神淡路大震災。通勤途中に見る被災地と、そうでない地域の人々のギャップを目の当たりにし、自分のすべきことを問いただしました。

そして、仕事に一区切りついた2月に会社を辞め、避難所や、仮設住宅まわりをし、行政に生の声を届ける活動を始めたのです。地元選出の石井一代議士に同行し、兵庫県や神戸市に聞き取りに行き、個人補償の実現に奔走しました。しかし、石井代議士がいくら国会で神戸の惨状を伝えてても、当時の村山自ら政権にはその声は届かず、この国の危機管理能力の希薄さを思い知らされました。そして、自分のめざす街づくりを実現するには、自分自身で議会活動をするのが最善策と痛感したのです。



裏面へつづく…

Q. 空港について

A. 将来、子供たちに関わる大変重要な問題なので、十分検討してお答えしなければなりません。今の私の考えでは、周辺の二空港のあり方をもっと明確にし、地方税財源の充実など、地方分権を推進し、自治体が税金の使い道を独自に使えるようになるまで、一時凍結してはどうかと思っています。教育・医療・福祉・介護などに十分な税金を充てることができ、なおかつ、市民から本当に空港が必要だという声がでた時は、建設すればいいと思います。立ち止まる勇気も必要ではないでしょうか。



Q. 明石青年会議所でも活動？

A. 私たちが暮らす西区は、元来、旧明石郡の一部であり、歴史的にも、地勢的にも、人的にも深いつながりがあります。私の主張している「地下鉄の延伸」を実現させるためにも、受け入れ先の明石の人々、特に明石の未来を担う若いメンバーと交流を深めることは10年後、20年後に、必ず実を結ぶと思っています。

Q. 朝は何時に起きるの？

A. 4時すぎには目がさめます。その分、夜は遊び足りない子供が寄ってきても、11時前には限界です。朝6時に駅に立つには十分時間があるので、天気のいい日は自転車で向かいます。でも、身を切るような寒さですよ。



ボランティア募集！

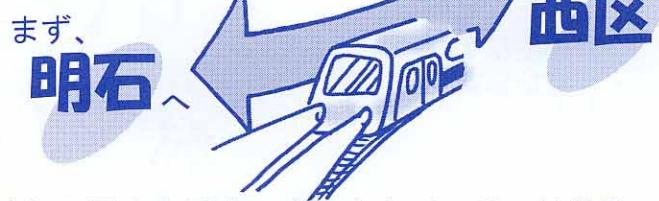
- ・『みるみる通信』を配ってくださる方
- ・事務所で宛名書きをしてくださる方
- ・事務所で簡単な作業をしてくださる方
- ・駅立ちを手伝ってくださる方
- ・ミニ広報車を運転してくださる方…etc

お気軽に後援会事務所までお問い合わせください。

Q. 地下鉄の延伸って？

A. 快適で潤いのある街づくりに、「人の流れ」は一番大切なことと思っています。震災の時は多くの人たちが地下鉄の不通で不便を感じました。そして西区の人口の半分を占めるニュータウンも、開発されて既に10年、20年が経っており、街全体が高齢化してきています。

福祉や教育の充実は、人の輪なくしては成り立たないものです。たとえば、姫路や明石などの西から来る人たちが、グリーンスタジアムで野球観戦し、西神で食事をして帰るような動線を考えてみてはどうでしょう。人を循環させることにより、人の流れを作ります。



昨年、国土交通省の事務次官が、地下鉄整備に道路財源の一部を活用してはと提案していました。地下鉄の用地買収については、旧来型ではなく、国道175号線など既存の道路や、明石川の河川敷を活用することにより、極力、費用と時間と労力を省くことが大切で、モノレールの導入も一考の価値があると思っています。

Q. 選挙に落ちたあとは？

A. 聞くも涙、語るも涙。涙なみだの物語と思いきや。投票日の翌日から駅に立ちました。バックに組織も団体もない私に、16,315人もの方々が投票してくださったのです。感謝の気持ちをこめて駅に立ちました。タスキものぼりもないスーツ姿の私に、「次はがんばれよ！」のお言葉。普段声はかけてくれなくても、私の顔と名前をきっちり覚えていてくれたことに、本当に感激しました。そうはいっても遊んで暮らせませんので、縁あって保険会社の研修生として再就職し、一昨年代理店として独立しました。また、妻もがんばって働いてくれ、近くに住む両方の親も、子供の面倒をみてくれています。仕事の仲間も、私の活動を理解してくれており、ほんと身近にいる人々の協力で、今の私があるのです。



若さと行動力で県政へタックル!!

石井ひでたけ後援会

〒651-2133 神戸市西区枝吉1丁目215番地

TEL. (078) 920-2200

FAX (078) 920-2211 E-mail: h-ishii@nyc.odn.ne.jp

ホームページ更新しております。

ぜひ、アクセスしてみてください!

<http://www2.odn.ne.jp/ishihide/>